

公益社団法人砥粒加工学会 関西地区部会報告

30周年記念講演・懇親会を終えて

クサツエストピアホテル瑞祥の間(滋賀県草津市) 令和7年11月13日(木)開催

1. はじめに

令和7年度は、砥粒加工学会の法人化30周年を迎える節目の年となります。関西地区部会では砥粒加工学会を支える産学メンバーが一同に会し、砥粒加工学会関西地区部会の歴史を振り返り、本業界の将来とさらなる飛躍を皆で考える機会として、30周年記念講演・懇親会を開催いたしましたので、ご報告させていただきます。



関西大学 北嶋弘一氏

2. 記念講演会

同日は、関西地区部会第3回研究見学会をニデックマシンツール(株)様(滋賀県栗東市本社工場)で実施し、会場を移して、研究見学会の興奮冷めやらぬうちに、30周年記念講演がスタートしました。古城直道 関西地区部会長(関西大学)の挨拶に始まり、講演会では砥粒加工学会を長年支えてこられた産学を代表するお二人に貴重なご講演を頂きました。



株式会社ミズホ 恩地好晶氏

初めに、関西大学名誉教授の北嶋弘一氏から「関西地区部会(関西支部)の設立から27年の道のりを振り返って」と題して、砥粒加工学会の誕生から今日までの歴史に関して思い出深い写真とコメントを交えながら、砥粒加工に対する思いを熱弁いただきました。“27年の道のり”との題目から、なぜ?と思われる方もおられると思います。(厳密には関西支部の設立は1998年)まだ30周年ではない、3年後にまた皆で語りあいたい、という北嶋氏の思いが垣間見えるご講演でした。



砥粒加工学会 会長 大橋一仁氏

続いて、産業界を代表して、関西支部設立時から関西地区部会の役員として、また、2019-2020年に第11代の関西地区部会会長を務められた株式会社ミズホの恩地好晶氏から「関西地区部会の思い出、微粒砥石による砥粒加工への期待」と題して、超仕上げ砥石の開発を中心とした各種砥石の開発と市場動向についてご講演いただきました。終わりに関西地区部会での思い出を語っていただき、学会を通じての人と人の関わり合い(“人の輪”)の大切さを感じる温かい雰囲気でご講演会を終えました。



3. 懇親会

講演会後には、同会場にて懇親会を開催しました。砥粒加工学会長の大橋一仁氏のご挨拶に続き、第3代関西支部長の中川平三郎氏のご乾杯のご挨拶で始まり、関西地区部会ならではの賑やかな雰囲気では進行され、おいしい料理と美酒を皆で楽しみました。ご出席の歴代支部長・地区部会長からのご挨拶も交え、これからの関西地区部会活動に対する激励のメッセージをいただきました。最後に関西地区部会の更なる発展と飛躍を祈念し、北嶋弘一氏の万歳三唱で締め、懇親会は幕を閉じました。

4. おわりに

最後になりましたが、49名とたくさんの方々にご参加いただき、大変素晴らしい記念講演会・懇親会を開催することができました。心より御礼申し上げます。これまで砥粒加工学会関西地区部会の発展にご尽力いただいた皆様へ感謝し、今後のさらなる発展と飛躍のため、関西地区部会委員メンバーを中心に、これからも学会を盛り上げていきましょう。皆様よろしくお願ひ申し上げます。
(文責:田牧賢史朗)